

5. 環境学習の推進

(1) 学びの場づくり (2) 自然とのふれあい事業の推進 (3) 飯田市のイメージづくり及び情報発信 (4) 市民参加の推進	(リーディング事業) 5-1 e・c・o キャンペーンの展開 5-2 みんなで考え育てる いいだ環境物語
--	--

レジ袋削減の取組みが始まりました

レジ袋削減は、従前より市民団体や地域の環境衛生委員会の地道な運動として取り組まれていましたが、市民団体による行政への働きかけがきっかけとなり、事業者、消費者、行政による南信州レジ袋削減推進協議会が平成 20 年 7 月 17 日発足し、県内の先駆けとして南信州地域が一丸となってレジ袋削減する取組みが始まりました。レジ袋削減の取組み方法は登録制で、事業者は「有料化」、「廃止」、「値引き」の3つから選択し、「レジ袋の辞退率を平成 23 年 9 月までに、80%以上」とすることを目標に、平成 20 年 10 月 1 日から開始しました。平成 21 年 2 月 1 日からは、地域の大型店等の店舗が足並みを揃えて一斉にレジ袋有料化（無料配布中止）がスタートしました。

これらの取組みにより、マイバッグを持参して買い物をする市民が急速に増え、当初 36.8%であった市内の取組登録店(50 店舗)における平均レジ袋辞退率は、21 年 3 月時の調査で 87.4%までとなり、早々と目標を達成することが出来ました。

また、平成 21 年 3 月末日現在の登録店舗数は、飯田下伊那地域全体で 130 店舗（廃止 9、有料化 103、値引き 18）となりました。

今後は、飲食料品部門以外の分野でのレジ袋削減の取組みをどう拡大していくかが課題です。

水生生物観察会を開催しました

環境学習の一環として、また水質の経年変化の調査も兼ねて、環境チェッカーの皆さんと松川水環境保全推進協議会の合同による水生生物観察会を平成 20 年 7 月 27 日に開催しました。毎年ほぼ同じ場所で行っていて、平成 20 年度も松川の上流部(妙琴公園)と中流部(新久米路橋)の 2 箇所を観察を行い、松川に生息する様々な水生生物について学びました。

また、見つかった水生生物から、松川の上流、中流における水質は、共に「きれいな水」と判定されました。



登録証授与式（H20.9.30）



5 環境学習の推進

(1) 学びの場づくり(各学校の取組)

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残渣等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
丸山小学校						<ul style="list-style-type: none"> ・資源物改修(年2回PTA中心に) ・ごみの分別処理(全職員児童) ・アルミ缶牛乳パック回収は月2回取り組み、ペットボトルのフタを集まる活動、太陽熱を利用した温水作りとその利用を行いました。 ・大平キャンプ(5年)を実施し、自然体験学習することを通して、環境保全の大切さを学びました。 ・風越山登山(6年)を実施し、地元の自然の雄大さを知ると共に自然を大切にすることを育みました。 ・桐林クリーンセンター等の見学(4年) ・委員会による環境クイズ 	各活動を通して、物を大切にする心、地域の自然を大切にしたい心、環境を美しく守る心の育ちが見られます。リサイクルや分別に対する意識も高まってきました。
追手町小学校	毎週火曜日朝					<ul style="list-style-type: none"> ・町別子ども会の計画による町内清掃 ・ごみ焼却場、最終処分場、リサイクル工場見学(4年生) ・ごみの分別方法、ごみ処理方法について、下伊那のごみ処理についての学習(4年生) ・キャンプで森林、川などの自然体験学習(5年生) ・PTA主催の資源回収(7月、10月)に児童も協力。 ・節電・節水のよびかけ。 	環境保全、食物の大切さ、資源の有効利用についての意識を高めることができていると感じます。節水、節電について意識をさらに高めたいと思います。
浜井場小学校						<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い登校の実施 ・ごみ焼却場、最終処分場、リサイクル工場の見学(4年) ・PTA主催の資源回収への児童の参加 ・3年の環境学習における学校での電気・水道使用量調査と全校集会での発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・残滓量調査を毎日発表することで残滓を減らす意識化がされ、現在全校での残滓量が1kg前後となっています。 ・電気や水道の使用量を発表するとともに廊下に掲示することにより、節約に対する意識付がされています。 ・アルミ缶回収やクリーン登校により、資源のリサイクル・環境美化に対する意識が日常的に培われています。
座光寺小学校						<ul style="list-style-type: none"> ・桐林クリーンセンター、グリーンバレー千代の見学 ・雨水を花の水やりに利用 ・遊びの森での春探し、秋探し ・3年以上の児童に「地球にやさしくできたかなチェックシート」で自己評価を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの身の回りの環境や、ゴミについての関心が向くようになりました。 ・分別など、自分たちの教室でもその必要性に気づき自然と分別できるようになりました。
松尾小学校	毎週金曜日	第2、第4火曜日	毎日			<ul style="list-style-type: none"> 学有林の自然体験学習(6年) 学活でゴミの分別回収等の指導を行うサンヒルズの社会見学(4年) 	リサイクルや分別回収の意識は育っています。春と秋にきれいな花を咲かせており、自然を大切にすることも育っています。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
下久堅小学校			ごみ...毎月 残滓...毎日			<p>各学年・全校・児童会・PTAでの取組み 理科園・学級花壇・一人一鉢などの花の栽培・観察 ・鉢植え、ヒマワリ、アサ、スッポウの栽培と観察 ・花壇、プランター...チューリップ、パンジー、マリゴールド等 ・一人一鉢...あさがお、ミニトマト、鉢植え、パンジー等 ・公共施設、一人暮らしのお年寄りへの花のプレゼント</p> <p>ト 米づくり、野菜づくり ・5年生が、地域の方の協力を得ながら米づくりに取り組む ・1～6年生は、ササゲ、ポップコーン、きゅうり、アサなどの野菜づくりに取り組む</p> <p>生き物の飼育 ・うさぎ、金魚、昆虫、水生生物等の飼育 ピオトープ「しあわせの池分校」の取組み（全校・児童会） ・池の動植物の観察、看板作り等</p> <p>各教科での環境学習 ・ごみの学習（4年社会）公害の学習（5年社会）公害の歴史（6年社会） ・環境問題に関するポスター制作（図工） ・学友林での活動（6年整備作業、低学年自然体験活動）</p> <p>紙漉に関わる活動 ・トウモロコシの栽培（1年）コウゾの刈り取り（2年）コウゾの皮むき（全校）紙漉（全校）漉いた和紙で凧作り（全校）卒業証書の紙漉（6年） PTA資源回収 児童会活動による環境美化、省エネ、リサイクル活動 ・環境委員会...ごみ拾い活動、リサイクル活動 ・給食委員会...残滓量調査、給食週間等</p>	<p>・作物や花の栽培活動を通じて、植物の生長について学習するとともに、自然に親しみ、心を豊かにしたり、食への関心を高めたりすることができた。</p> <p>・資源回収、ごみ拾い活動、給食残滓調査等を通じて、資源の有効活用、ごみの分別化、食料問題等に目が向き、省資源・省エネなどに進んで取り組もうとする態度が身に付いてきている。</p> <p>・校内ピオトープ「しあわせの池分校」のお友達（池の生き物）に心を寄せ、生命を大切にしたい気持ちや水辺の環境を守っていこうとする気持ちを持つことができた。また、池分校のきまりづくりなど、児童が自主的に池に関わることもできた。</p> <p>・各教科での環境学習では、見学や制作、体験や調査活動などを通して、環境問題に対する関心を高めることができ、自分たちのまわりの環境を大切にしようとする意識付けができた。</p> <p>・全校で「ひさかた和紙」の紙漉の様々な作業に取り組む、地域の伝統産業とそれを支えてきた環境に目を向けることができ、地域への愛着心を持つことができた。</p>

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
上久堅小学校	毎月1回	毎月1回	毎月1回			<p>「総合的な学習の時間」「社会科」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロメダカ調査活動とメダカ池での観察 ・古代米栽培 ・ゴミの分別や行方、水道の役割等について、施設見学実施 みどりの少年団活動 ・鷹見の里（豊田市）ピオトープサミット参加 ・しいたけの駒打ち、収穫と販売 ・みどりの少年団交流会における間伐体験 ・花壇の栽培活動 児童会活動 ・牛乳パック回収、通学路ごみ拾い、節約週間 等の実施 ・学習林活動と環境整備の推進 植物ウォーラリー実施 ・PTA作業参加 	<p>地域の自然環境を守り、育てることを通して、環境への意識を高めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上久堅固有のクロメダカの観察調査活動、古代米の栽培を通し、上久堅の豊かな自然環境について意識を高め、豊かな自然を大切に守り続けていこうとする心情が培われている。 ・児童会で、継続的に環境に関わる活動に取り組み、意識を高めることができた。 ・鷹見の里ピオトープサミットに参加することにより、上久堅の自然環境の素晴らしさを実感し、地域を愛する心情が培われた。 <p>児童会やみどりの少年団の活動を通して、環境保全意識が高まっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会の呼びかけにより、ゴミの分別、アルミ缶・牛乳パック回収、通学路ごみ拾い等を通して、身の回りの環境保全への意識が高まっている。 ・自然とふれあい、自然の良さや地域の良さを感じることができた。 ・椎茸栽培、みどりの少年団交流集会等で、自然や人と交流することにより、豊かな心が育っている。
千代小学校	毎月1週間	毎月1回	給食：毎日 ゴミ：週1回			<p>地域の環境保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善意の川の清掃(年2回)、よこね田んぼの田植えと稲刈り、PTA資源物回収(年1回) みどりの少年団活動(通年) ピオトープの維持・管理。水性植物や魚の観察。 農業体験 ・稲作体験、炭焼き、収穫祭 地域の自然と親しみ活用する活動 ・竹の子掘り・松茸狩り・キノコ駒うちと収穫・農産物栽培と加工、千代っ子の森の整備 クリーンセンターや最終処分場などの施設見学(4年社会科学学習「わたしたちのごみのゆくえ」で) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化・保全活動の大切さを体験を通して理解できます。また、ゴミの分別など生活常識が身につけてきます。 ・地域の自然と親しむ活動を通して、ふるさとの自然の豊かさを感じると共に、地域の人たちとのふれあいの温かさを感じ、ふるさとへの愛情や誇りが高まっています。 ・地域の方などいろいろな人達との交流を通して、人間関係作りの基礎が培われます。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
千栄小学校						<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶、牛乳パックの回収（通年） ・資源物回収（年1回、PTA中心に） ・ごみの分別処理（通年）児童、職員共に ・みどりの少年団活動（通年）3，4年生 * 外部の事業に参加、地域にあるコスモス天文台で星見の会を行う。 * 炭・木酢液の無人販売、炭焼き体験 等 ・学友林での遊び（通年）1，2年生が中心 ・よこね田んぼの田植えと稲刈り（5月、9月）全校 ・花づくり <ul style="list-style-type: none"> * 苗を全校で育てて学校花壇、地区花壇に植えて管理する。 * 育てた苗を地域の方々に配る。 * 地区花壇では植え付け作業を地域のボランティアの方と一緒にいった。 ・農業体験（4月～11月） <ul style="list-style-type: none"> * 地域の方の支援を受けて様々な野菜を作る。 * 収穫祭（1月） ・山の木を伐採した現場に出かけての学習（11月）5，6年生 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によさに気づき地域への愛着が育つ。 ・地域の方々やPTAの方との交流を通して、人間関係が広がる。 ・土をいじる、作物や植物とふれあう、人と交流するなどによって豊かな心が育つ。 ・自然とふれあうことで自然のよさ、地域のよさを感じる。 ・ごみの分別、資源回収、アルミ缶・牛乳パック集めなどを通して環境保全の意識が高まる。
龍江小学校	毎週火曜日					<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ集積所の様子や収集する方へ話を聞き学習のまとめとして飯田市の最終処分場並びに焼却場の見学を4学年が行いました。 ・1年から3年までの児童がふるさと発見学習を行いました。龍江地区内の歴史・産業・自然・文化財等を見学しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の自然環境を利用して、動植物にふれながら命の大切さについて学ぶことができました。 ・地域の自然にふれる中で、地域の素晴らしさを学ぶことができました。 ・保護者・地域の方々の自然保護に対する意識が高く、児童は日々の生活の中で自然保護について学ぶことができました。 ・アルミ缶回収・牛乳パック回収への意識が高く、特に呼びかけをしなくても主体的に全校児童が取り組むことができました。 ・栽培活動では、植え付けから除草などの活動を通じて、植物の生長について学ぶと共に、食料として収穫物を食した。食の大切さ、汗して働く態度、食への感謝などを体験を通じて学ぶことができました。 ・ふるさと発見学習（生活科、総合的学習との関連）や公民館主催のふるさと探検などの行事を通じて自然の様子や保護について多くのことを体験しながら学ぶことができました。 ・全学年が環境について何らかの学びをしたことで、児童の環境に対する意識が更に高まってきました。 ・5，6年生が環境学習を行ったことで意識が高まりました。特に外部の専門家の方々のお話を聞いたことは主体的に環境を守ろうとする意識の高まりを促すためには効果が大きかったです。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
竜丘小学校	年4回		給食：毎日 ゴミ：週2回			<ul style="list-style-type: none"> 桐林クリーンセンター、地域のゴミステーション等の見学、ゴミ収集車の仕事調査 地域井水の見学 光電池、手回し発電機によるエネルギーについての学習 生き物と自然のつながりについての学習 実験済み廃液の管理 児童による環境チェック活動（毎月・環境委員会） いいむす活動（電気、水道、燃やすゴミ、残滓、埋立ゴミ、灯油など） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、教職員、保護者の省エネや環境保護に対する意識の向上 電気、水道、紙類、灯油等の資源節約 いいむす活動のP D C Aサイクルの確立と改善策の具体的な実行（毎学期）、前年度比で実績評価 紙資源（裏紙使用）、アルミ等の金属資源のリサイクル促進
川路小学校						<ul style="list-style-type: none"> 資源回収の実施（年1回PTA中心）・ゴミの分別（教室のゴミの回収を週1にしてゴミを減らす）・学友林での体験活動（クラス、クラブ）・農業体験（米づくり、野菜づくりで地域の方のご指導と支援）・クリーンセンターの見学（3，4年） 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの多さ、分別、リサイクルと自分の身の回りの環境への意識が高まりました。 野菜や花を育てたり、学友林へ出かけるなどして自然と親しんだりしたことで、自然環境への意識が高まりました。 学年、学校という枠から、家庭への環境意識の高まりにもつながりました。・月1回の各分担の使用量の見直し実施で職員の環境意識が高まりました。
三穂小学校	毎週火・金曜日					<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日と金曜日に児童会が中心となりアルミ缶回収を行いました。 児童会の取り組みとして学期に1度ほど学校裁量の時間を使って地区内を分担しゴミ拾い活動に取り組みました。 5・6年生を中心に、みどりの少年団活動でしいたけの駒打ち体験を実施。 11月全校で校庭の銀杏を収穫し、その売上金を「夏君を救う」義援金として送りました。 10月地域の方々との「ふるさとめぐり」で地域や学校周辺のゴミ拾い活動をしました。 学友林での自然散策を各学年で実施。 PTA事業の資源物回収へ児童も自主的に参加し、ゴミの分別ゴミの量等を体感した。 	<ul style="list-style-type: none"> アルミ缶や古紙など廃棄物も資源物であることを体感し、ゴミの分別やリサイクルへの意識、ものを大切にしようという意識の高揚が見られた。 栽培したものを寄贈することで、喜ばれることに幸せを感じるなど、福祉の心が育ちつつある。 学校や地域のゴミ拾い活動を通して、自分の身の回りの環境を美しく保とうという意識が高まりつつある。 しいたけの駒打ちや銀なんの採取を通して実りに感謝する気持ちや栽培することの喜びを感じつつある。
山本小学校						<ul style="list-style-type: none"> 久米川に魚の放流 社会見学にて、クリーンセンター、下水処理場の見学 家庭でできるエコ活動調べ 学校近くの畑で野菜、イモ類を育て土に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を中心に地域の環境を良くしていこうという意識が育っています。 土に親しみ調理していただくことで郷土や自然への愛着が育っています。
伊賀良小学校	曜日を決めて実施					<ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間・生活科における環境学習 ・アップロードのりんご植栽帯の除草作業 4、5、6年（6月、9月、11月） ・学校林における学習 1、2、3年 ・栽培学習 1、2、3、4、5年 児童会活動における環境学習 ・クリーンタイムの実施 20分休みにゴミを拾って教室へ戻る 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に取り組む活動として、資源の有効活用あるいは環境保全の意識が高まっています。 自分たちが住む地域の特色ある環境づくりに地域とともに取り組むことで、役立っているという意識が育ってきています。 学友林における活動や栽培活動をとおして、自然に対する興味関心が持てるようになっていきます。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
鼎小学校	週1回		毎日			<p>社会科の学習を中心として、学校生活のなかで出るゴミについてどのように分類し、処理すればよいか学習しています。</p> <p>児童会の委員会活動で、アルミ缶、牛乳パック、エコキャップの回収を呼びかけています。アルミ缶回収の利益は、車椅子購入の資金に、牛乳パック回収の利益は、ネパール森林作業への参加に、エコキャップ回収の利益は、ワクチン接種活動へとそれぞれ有効に活用しています。</p> <p>「花のある学校」を学校の目標にして、花の栽培に力を注いでいます。また、児童会の花壇委員会が中心となり、プランタで花を栽培して、これを地域の公共施設にプレゼントしています。</p> <p>5年生が近くの田を借り、米作りの活動、他の学年は、野菜作りに取り組んでいます。</p> <p>児童会の給食委員会が、毎日全クラスの残滓量調べを行い、残滓を少なくするように呼びかけています。</p>	<p>各教室には、分類しやすいように袋やリサイクル紙を入れる箱等を用意し、子どもが自ら分類・処理するようになってきています。</p> <p>回収日は週一回ですが、かなりの量が回収できています。また、この回収にはそれぞれ目的があり、回収した利益がいかされていることにも、子ども達の励みになっていきます。</p> <p>花作りにより、子ども達は、花作りの楽しさを味わったり、環境を美しくすることのよさに気づいたりしています。また、プランタを公共施設にプレゼントすることにより、地域の方からも感謝されています。</p> <p>米や野菜の栽培により、栽培の楽しさや苦勞を味わっています。</p> <p>残滓量調べは、子ども達の残滓を少なくしようという自主的な意識につながっています。</p>
上郷小学校	週1回					<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・紙・ビニルの分別に関する指導。（全学年で4、5月に実施） ・学友林での諸活動を通して自然と環境について考える。 ・クリーンセンターとリサイクル工場の社会見学を中心とした社会科学習。 ・落ち葉を集めて堆肥化し、花壇や畑に入れて再利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルの具体的な実践が児童一人一人の意志でなされることに意義があります。 ・植物や動物との直接的な関わりとその関連学習から自然と環境について理解を深めて、ひいては環境保全の心情を養います。 ・直接的な環境問題について理解を深めて、環境保全の必要性を実感しました。
上村小学校						<ul style="list-style-type: none"> ・各学級の畑で作物を作ることはもちろん、全校でシイタケの駒打ち作業をしたり、サツマイモやソバを育てたりした。作物を収穫し味わうことを通して、自然の恵みに感謝する心を育てた。 ・6年生を中心に、みどりの少年団活動に参加し活動した。森林が果たす環境への役割を考えたり、自然との共生の大切さを学んだりして、環境への意識を高めた。 ・4年生は、桐林クリーンセンターを見学し、各種ごみのリサイクルについて調べた。 ・保健委員会を中心に、ごみ拾い集会を何回か行い、地区のごみ拾いを全校で行って、ごみを拾って地区を美しくすると、ごみを捨てない心を育てるように活動した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に対する感性を高め、自然の恵みに感謝し、自然と共生することの大切さを感じることができた。 ・植物との関わりから、土壌や気候、肥料などの知識と関心が高まり、環境の与える影響についてそれぞれの体験から学び取った。 ・ゴミのポイ捨て防止の心情が高まり、ゴミの減量、分別や有効利用の意識が高まった。 ・地区内の美化活動への意識が高まった。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
和田小学校						<p>(1) 4, 5年生でみどりの少年団を組織し、4月から花壇を作ったり、お茶の栽培や収穫、販売をしたりすることを通して、みどりを育て、守る活動を行った。</p> <p>(2) 社会科の学習で4年生が桐林クリーンセンターを見学し、ごみのリサイクルについて調べた。</p> <p>(3) 6年生は遠山川を題材とした総合的な学習に1年間取り組み、川の生物や植物を調べたり、川の清掃に取り組んだりした。河川の工事による流れの変化を知り、自分たちが遊び親しんできた遠山川を守っていくためにはどうしたらよいか、学習を深めた。</p> <p>(4) 児童会活動では、学校を美しくする委員会が各学級のごみの分別や量について見直す週間を年2回企画し、全校でごみを減らす意味を考え合った。</p>	<p>(1) みどりを育てたり、育て収穫した茶を味わったり販売したりする活動を通して、みどりへの愛着が深まった。</p> <p>(2) ごみのリサイクルの仕組みを知り、分別することの意味を実感することを通して、日頃のごみ減量への意識を新たにすることができた。</p> <p>(3) 遠山川にかかわる1年間の活動や、全校や校外の場における遠山川の学習の発表、自分たちの遠山川を守っていききたいという呼びかけを通して、自然や環境を守り育みたいという意識の涵養につながった。</p> <p>(4) 燃えるごみに捨てられていたリサイクル紙や、分別を間違えているごみに気づき、一人ひとりの児童が環境を守るための正しい分別を意識することができた。</p>
飯田東中学校	毎週水曜日	毎週水曜日				<p>1 りんご並木育成活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい交流会 ~、摘果作業(4~6月) ・除草作業、水やり、観察日誌(7~9月) ・収穫作業、土作り(10~12月) ・平成20年度りんご収穫数11544個 <p>2 アルミ缶、牛乳パック回収、ゴミ拾い登校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に実施。 ・平成20年度のリサイクルによる収入47,758円。 <p>3 町内清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1土曜日に実施。 	<p>1 りんご並木育成活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土のシンボルであるりんご並木の育成活動を通して、郷土の豊かな自然や先輩方の思いを愛する心情を培うことができた。 <p>2 アルミ缶、牛乳パック回収、ゴミ拾い登校、町内清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について関心を持つ。 ・環境問題について積極的に考える力をつける。 ・身のまわりの環境について考え、より良くしていくとする態度の育成。
飯田西中学校						<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動として、5月のゴミ0クラスマッチでは、登校時に通学路のごみ拾い活動を実施しました。また、無言清掃・気づき清掃などを伝統としている西中清掃を日々行っています。 ・6月、11月に羽場連合青社会主催の大平街道クリーンキャンペーンに美化委員会が参加しました。 ・5月に、全校生徒参加の風越山探鳥会を伝統的に行っています。また、11月にも丸山・羽場両公民館主催の探鳥会にも100名を超える生徒が参加しました。 ・3学年の総合的な学習の時間では、風越山の林業についての学習を行い、9月のチャレンジweekでは、実際に現地へ赴き、間伐体験を行いました。 ・毎月アルミ缶・牛乳パックを回収し、クラスの参加率と回収量を昼の放送で発表しています。また、地域の方にも協力をお願いしています。 ・年に数回、園芸委員会が正永寺桜の発祥の地を訪れ、草取り等環境整備を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のごみ拾いをすることで、地域をきれいにしていこうとする意識が高まりました。また、西中清掃への取り組みも良くなってきています。 ・鳥を観察しながら自然に親しむことで、鳥の住む環境を保つことの大切さに気づくことができました。 ・地域の風越山について学習を進めることで、地元の風越山を身近に感じ、守ろうとする心が育ってきています。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
緑ヶ丘中学校	毎週木曜日	毎週木曜日	給食残滓：毎日 ごみ排出：排出日に記録	生徒会緑化委員会による栽培管理：プランターに植え、各教室と玄関に設置 他に学級花壇作りを実施	特別支援学級で野菜の栽培 部活動（技術部）でジャガイモ・トマトの栽培	・各学級で「いいむす」と称して、「照明スイッチ」「紙の分別」「食事の残滓」「暖房温度」の観点で日々チェックし、状況を記録し、併せて指導している。 ・係から、職員会などの機会を利用し、環境についての資料を配布したり、ごみ排出量の状況を知らせたりして、学級指導に役立ててもらっている。 ・生徒会整美委員会を通じて、ごみの分別の呼びかけやごみ出しの日に現場で点検し、分別が確実にできるようにしている。	・アルミ缶回収は目標を設定したことで生徒一人ひとりの意識が高まりました（ほとんどの生徒がアルミ缶を持って来るようになりました）。また、環境問題に主体的に関わりを持てるようになりました。 ・ごみ拾い登校を通して、地域へ目を向け、環境について考えることができるようになりました。 ・各学級が「環境学習記録」に月ごとの成果と問題点を記録することで、生徒の意識が高まり、電気は前年度比で平均9.4%。ゴミの量は前年度比で平均7.2%の成果ができました。
竜東中学校						1 花壇を中心とした花作り (1) 花壇（学校花壇、地区花壇）の管理 生徒会造園委員会を中心となって全校で、種まき(5月)・ポットへの移植(6月)・花壇への定植(7月)を行う。 学区内に14の地区花壇があり、地区生徒会を中心に定植・除草・花の片付けを行っている。定植には、PTA支部長の方々に協力していただき、土作りから植え付け、除草など、生徒の活動を支えていただいている。 (2) 庭園・庭木の管理と育成 清掃時などに草取りなど生徒・職員ができることは作業の時間をとる。 (3) 校内美化 校内に常に花のある状況を作る。そのために、生徒が家庭から持ち寄ったり、造園委員会で育てた鉢花を飾るようにする。また、入学式や卒業式、3年生を送る会での装飾用の花や、卒業生・転退職される先生方へのプレゼント用の花も作る。 2 清掃活動の充実 3 LOE活動の推進(Love On the Earth) 4 「学校いいむす」への取組み	1 花作りを通して、身の回りの環境に関心を持ち、自然を愛する心情を育てる。また、地区花壇づくりにより、学校だけではなく、自分たちが暮らしている地域全体の環境美化に心を傾けることができる。 2 清掃活動・LOE活動(ごみ拾い登校)・「学校いいむす」(生徒会整美委員によるゴミの分別)を通して、「きれいにする」だけでなく、「汚さない」「無駄にしない」「分別する」という「環境教育」の面からも考えられる生徒を育成する。
竜峡中学校		月1回				・生徒会で福祉施設へ介助用品等を寄付するため、具体的な目標を立て、アルミ缶、牛乳パック回収を行った。 ・全校生徒と職員で天竜峡公園、桜街道、小笠原書院の3ヶ所を地域の方と共に清掃活動をした。 ・生徒会環境委員会の生徒が、当番制で太陽光発電のデータを記録した。 ・生徒会代議員会の呼びかけで、月1回の530(ゴミ0)の日を決め、全校生徒が登校中のゴミ拾いを行った。	・アルミ缶、牛乳パック回収では、目標を達成するために、生徒の自宅近所の家庭にもお願いをして回収した。生徒一人ひとりの意識も高まり、介助用品を贈ることができた。 ・自分の出身地区にある公共施設を清掃したことによって、地元の良さを再確認したり、地域の方々の願いや取り組みを感じたりすることができた。 ・生徒一人ひとりに、ゴミを拾う、ゴミを捨てないという意識が高まった。

学校名	アルミ缶、牛乳パック等回収	ごみ拾い登校	ごみ排出量、給食残滓等調査	花の栽培	水稲、野菜づくり	その他環境に配慮した取組み 環境学習の取組み	環境に対する効果
旭ヶ丘中学校						簡易池でのメダカの飼育、資源回収により得た資金を各活動に活用	<ul style="list-style-type: none"> ・めだかの飼育では理科の授業で教材として利用するとともに、生態系の仕組みを学ぶ場になっています。 ・資源回収では地域の資源を有効に活用するとともに、リサイクルの意識を育てる大切な場になっています。
鼎中学校	毎週月曜日					校外ボランティアの一環として、地域内の公共施設等の清掃やゴミ拾い、プランターの配布・設置を年間2回実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収 ・ごみの分別や再利用に対する意識が高まりました。
高陵中学校	毎週月曜日					<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも協力をお願いし、専門のかごを校門わきに用意し随時回収も行っています。 ・高陵の時間（総合的な学習の時間）で「道路のゴミ拾い、神社・駅の清掃」等を位置づけ、その取り組みを参観日等で発表しています。また、地区生徒会として、各地区、夏休み中に奉仕活動として地域の清掃やゴミ拾いを行っています。 ・給食残滓調査・・・過去の月別残滓量と比較したり、担任や担任や栄養士による給食指導や献立作成委員会が出された意見を献立に生かしたりすることにより、残滓量を減らす努力をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日のアルミ缶・牛乳パック回収日には、学年の参加率と目標を達成したクラスとを昼の放送で発表し、励みにしています。また、参加率が高まるにつれて、リサイクルの必要性や大切さについての意識が高まっています。 ・総合的な学習の時間や地区生徒会の活動としてゴミ拾いや地域の清掃をすることによって、今まで、あまり関心を持っていなかった地域の環境に目が向くようになってきました。作業等自主的に取り組み、きれいになったときには、充実感・満足感を感じる生徒が多かったように思います。また、地域への貢献等を通して、できることから少しずつ取り組むことが環境の改善には不可欠であるという点に目を向ける生徒が増えてきています。 ・給食の残滓については、過去のデータと比較すると、非常に量が減ってきています。
上村中学校		5月、11月に河川道路清掃を実施				学期末にクリーンキャンペーンを1週間実施。清掃時間を5分延長し、毎日重点箇所を決めて行いました。	身近な河川のごみを拾うことでごみの不法投棄の現状を知るとともに、地域の環境美化に対する関心を高めることができました。
遠山中学校						<ul style="list-style-type: none"> アルミ缶回収 通年 地域に協力を呼びかけ、アルミ缶回収を実施。生徒会・下校時に各自で自主的に缶つぶしを行うリサイクル活動。 花壇作り 通年 学級ごとに5月と9月に花植えを行い、水やり・草取りを行う。鉢植えポットを地域の施設に配布。 学有林学習 5月31日 事前に森林管理署森林官、林務課普及係の方よりお話をいただく。当日は、PTAと一緒に枝打ち・伐採作業等を計画。本年は小雨のため、間伐までは行わず、間伐予定木のマーキング作業と防獣ネットを木に巻く作業を行った。 ビン回収 9月5日・6日 毎年PTAの協力により、ビール瓶・一升瓶の回収。収益の一部で地域への貢献を予定。 	<ul style="list-style-type: none"> アルミ缶回収について地域の理解・協力が定着し、アルミ缶のリサイクルが習慣化してきている。ビン回収では、生徒のリサイクル(資源の有効利用)の意識が高まった。 学有林学習は、森林保全の環境学習として今後も体験・作業・学習を継続していきたい。(年1回) 花壇作りは、学校環境作りという観点と地域への貢献という観点から今後も続けていきたい。

5 環境学習の推進

(1) 学びの場づくり

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
桐林クリーンセンター見学	10月31日(金)橋北公民館主催「北斗のまち・さわやか講座」において、桐林クリーンセンターを見学しました。 当日は、受講者及びスタッフ含め18名が現地見学し、職員から施設について説明を受けました。	クリーンセンター見学を通じてゴミに関する関心を高めてもらい、少しでもゴミを減らそうとする意識を高めました。	橋北公民館
農業体験事業	小学生を対象として、遊休農地における野菜作りを実施しました。苗植えから収穫まで自分達で行い、収穫した野菜の一部は子どもまつりの材料にしたり、地元保育園の給食用に提供しました。	農業体験を通し、農業の大切さを学ぶことで、食と農に対する関心を高めることができます。	座光寺地域自治会公民館委員会
麻績の里の桜ガイド	小学生を対象にしてガイドを募集し、事前学習会を行い、麻績の里舞台桜を観に来た方へ説明・案内を行いました。	子ども達は地域の貴重な資源を学ぶことができ、桜を通して地域の自然環境について学習するとともに、観桜客へガイドすることにより、地域に対する誇りを持つことができました。	座光寺公民館
麻績の里のお茶摘みと手もみ茶作り	旧座光寺小学校グラウンドの垣根になっているお茶の木から、茶葉を摘み、ホットプレートを使った手もみ茶作りを行いました。	自分達で摘んだ茶葉を、自分達でお茶にする作業を楽しむことにより、自然環境を学習するよい機会になりました。	座光寺公民館
杵原広場事業	杵原学校を拠点とし、保育園・小学校・大学・一般の方々と農業体験、古道散策、子供教室などを年間を通して実施しています。 地域の自然、文化、歴史を学ぶ山本学講座を開催しています。	自然とのふれあいの中で環境に対する意識を向上してもらう。	山本地域づくり委員会 杵原学校応援団
かさまつ大学環境講座	気象・温暖化などの人為的自然現象と地震などから環境問題について学習会を実施しました。	参加した方々及びその家族への意識啓発につながります。	伊賀良公民館
森林講座	第1回 6/24「身近な自然の不思議を解く楽しさ・おもしろさ」 第2回 7/26「流木を使った工作教室」 第3回 9/6「自然科学の工作体験」 第4回 9/17「自然とのふれあい きのこについての学習会」	自然との触れ合いの促進と森林のもたらすめぐみの学習ができました。	伊賀良学習交流センター
伊賀良地区環境教育	・5月24日、11月15日アップルロードポイ捨てごみ拾い 地区内のアップルロード沿いのごみを拾い実態把握。地区内にのぼり旗を掲げ通行する人達にも啓発 ・6月5日衛生班長研修(117人) ごみの分別地区のごみの出し方の状況等を市環境課を講師にお願いし再確認 ・7月18日ごみ減量・省エネ啓発 買い物袋利用推進キャンペーン 地区内の大型店舗にて来店者に買い物袋利用を呼びかけメッセージを配布(マイバッグ持参率50.5%)	ごみ分別の実態・省エネ方法を具体的に知ることにより、環境問題に対する意識の上昇に繋がります。また、自分たちが実践している活動を地域の住民にも拡大していき、みんなで環境問題を考えようとしています。	伊賀良まちづくり協議会

伊賀良地区環境教育	西部山麓フェスティバル(遊歩道散策) 親子で西部山麓の遊歩道を散策してもらい、伊賀良の自然を再確認してもらうと共に、親子のふれあいの場としてもらうために9月28日に伊賀良大瀬木梅ヶ久保地区で開催しました。小学生の親子120人(参加者全体では700人)の参加がありました。	子ども達が自然とふれあう場を提供し、自然に親しむきっかけを持ってもらうことで、最終的には伊賀良という地区に愛着を抱いてもらうことにつながります。	西部山麓活用推進協議会(伊賀良)
環境学習会の実施	環境学習会を実施しました。	環境汚染を中心とした環境問題について考える場を持つことができました。	鼎公民館(婦人団体連絡協議会)
春休み ふるさと再発見	H21.3.23 小学生を対象 遠山川のほとりを歩きながら、環境について考える講座。この時期は、桜も咲くため非常に美しい景色が見られました。	自分たちの住む自然豊かなこの地域を小学生の頃から誇りと愛着を持ってもらうことができます。	南信濃公民館
新規採用職員研修	飯田市職員として採用後約3か月を経過し、ある程度職務の状況を把握できた時期に、市内各分野の施設等を見学しました。環境関連では、桐林環境産業公園、イタチガ沢最終処分場、桐林クリーンセンター等を視察しました。	市政全般への関心を高めるとともに、視察をとおして環境文化都市に対する関心を高めることができます。	人事課
保育園における農業教育の推進	・環境に優しいほ場づくり(全市の保育園) ・モデル園での取り組み(竜丘保育園・時又保育園)	子ども達の食と農に対する関心を高めることができます。	農業課 子育て支援課
学校における農業教育の推進	・上郷小学校「有機農法による米作り」 ・環境に優しいほ場づくり(全市の小学校) ・モデル校での取り組み(鼎小学校・上郷小学校)	農業への親しみを味わい、農業の大切さを学ぶことで、環境保全の意識を育てることができます。	農業課 教育委員会
自治会・衛生組合などとの連携による苦情への対応	複雑多岐にわたる公害苦情が発生するため、各地区まちづくり委員会、各地区環境衛生担当委員会等と連携して対応を行うとともに、環境保全に関する説明会等の開催によって普及啓発活動を行いました。	苦情の解決に向けた効果を発揮しています。	各地区まちづくり委員会 各地区環境衛生担当委員会 環境課
飯田子ども環境会議開催	飯田市内の4つのこどもエコクラブの会員を対象とし、エコクラブ相互の交流を深め、環境学習の意欲を増進するため、2月21日に竜丘公民館で38人の参加を得て開催しました。「地域の未来はわたしたちにまかせて!」をテーマに、こどもエコクラブの仲間である「龍江エコクラブ」の皆さんの活動発表を聞きました。また、飯田市環境アドバイザー(4名)が講師となり、地球温暖化の要因とされる二酸化炭素(CO2)の重さを実感したり、家庭での省エネについて学びました。	環境学習に取り組む意欲の増進により、環境に対する意識づくりの進展が期待されます。	各こどもエコクラブ 環境課
地域ぐるみ環境講座の実施	・10、12月に下伊那農業高等学校において地域ぐるみ環境講座を実施。地元企業の環境への取り組みを知ってもらい、未来を担う人材育成につながりました。	環境改善の意識づくりにつながりました。	地域ぐるみ環境 ISO研究会 地球温暖化対策課

地域ぐるみ環境 I S O 研究会の活動	29 の事業所により構成する研究会活動を実施しています。 飯田・下伊那地域で独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす 21」の普及を通じて、地域全体の環境改善活動のレベルアップに取り組む活動をしています。	研究会活動を通じて地域の事業所が連携し、環境改善への取り組みが展開されています。	地域ぐるみ環境 I S O 研究会 地球温暖化対策課
地域ぐるみ環境 I S O 研究会による環境学習	・5月に飯田産業技術大学との共催により内部監査員養成セミナーを実施。EMS の理解を深め、内部監査員としての技法を学びました。 ・12月に盟和産業(株)、化成工業(株)の見学を実施。環境改善の取り組みについて学びました。	環境改善の意識づくりにつながりました。	地域ぐるみ環境 I S O 研究会 地球温暖化対策課 飯田産業技術大学
ISO14001 相互内部監査実施	飯田市役所などの ISO14001 相互内部監査に参加しました。	環境マネジメントシステムの仕組みを学習する機会につながりました。	地域ぐるみ環境 I S O 研究会 地球温暖化対策課

(2) 自然とのふれあい事業の推進 (*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
野底川で川遊び	8月3日(日)午後1時から橋北公民館育成委員会主催により、地域を流れる野底川で川遊びを実施しました。 当日は、親子及びスタッフ含め30名が野底大橋下(飯田市大門町)のところで遊びました。 また、講師に中村先生(追手町小教頭)をお招きし、水生昆虫の採取を行いました。 採取の結果、野底川は比較的きれいな川であることが分かりました。	身近に流れる川についてどういう川であるかを知ってもらうことができました。 また、比較的きれいな川であることを知ってもらうことにより地元に流れる川を大切にすることを育てることができました。	橋北公民館
万古溪谷沢川渉りツアー	万古溪谷は大変淵が深く、切り立った岩が入り組み非常に危険な溪谷です。この大自然を体感する機会の提供を目的に開催しています。	大自然の醍醐味を味わい、その大切さを実感できます。	千代公民館
千代ウォーキングマップの活用	千代地区内を6コースに分けて、各地区ゆかりの場所を設定してあります。このマップをもとに改めて千代のすばらしさ、自然の豊かさ、文化的な価値の高さを見つめ直す機会として活用していただくことを目的としています。	歩くことで自然を感じ、ふるさと千代のよいところを再発見できます。	千代公民館
魚の住める川にする事業	7月に山本小学校及び下伊那漁業協同組合との共催で、久米川の清掃とアマゴの稚魚2,000匹の放流を行いました。75名の参加者がありました。	河川環境の保全と、小学生に河川愛護の意識を持ってもらうことができました。	山本地域づくり委員会 環境緑化部会

自然学習バスツアー	公民館主催で4月に、多摩森林科学園を見学していただくために開催しました。桜の名所づくりアドバイザーの方に講師をお願いし、延べ20名の参加がありました。	地区内の植生を知り、豊かな自然環境を実感してもらいました。	山本公民館
ハナノキウォーキング	公民館主催で11月に、ハナノキの自生地を觀賞していただくために開催しました。ハナノキ友の会の方に講師をお願いし、延べ20名の参加がありました。	地区内の植生を知り、豊かな自然環境を実感してもらいました。	山本公民館
食農体験	種を蒔き・苗を植え・草を取り・水やり・収穫などの作業を通じて、野菜を育てる体験と収穫して調理し、食べる喜びを味わうことで、地産地消・食の安全などはじめとした学習の機会としました。 年間12回 一回平均の参加者15組30人	遊休農地の活用と、親子での食農体験により、環境学習・食育の意識醸成へ繋がります。	伊賀良公民館
伊賀良で一番高い山へ登ろう	環境学習と地域学習を兼ねて、10月25日に企画。身近な自然を知り、緑の大切さ・山の役割などを考える機会とするとともに、財産区役員さんと連携した「水源など生活に欠かすことができない山について学ぶ」意図を持って計画した。	環境について考える機会となっており、環境保護意識の醸成につながっています。	伊賀良公民館
ワーキングホリデーの実施	農業や農村に関心を持ち真剣に農業をやりたい方や、就農を考えているが具体的な方法や手段がわからない方々と、繁忙期の手助けや後継者が欲しい農家を結び、お互いの足りないところを補う「パートナーシップ事業」です。 平成20年度は、春2回、秋2回、通年で560人が延べ2,572日飯田市を訪れました。	農山村の良さの認識度アップにつながります。新規就農者の獲得につながります。	農業課
桜守の旅	飯田下伊那地方は、樹齢300年以上の老桜や樹形の美しい銘桜が数多く残っています。桜守の旅とは、この地方の桜を愛する人々が「すばらしい桜たちを未来に向けて子々孫々の代にも残していきたい」との願いを込めて、その物語や桜を愛する仲間として心がけることなどを訪れる人々に伝えていこうとするものです。 銘桜巡りチャレンジ企画「あなたも桜名人」において、銘桜40桜を鑑賞した人を「名人」として認定しています。	市民が地元の資源に気づく良い機会となります。 また、老桜の保存活動も始まりました。	観光課
体験教育旅行の誘致	主として5月から6月までの修学旅行シーズンに、飯田市内外各所においてラフティングボート、乗馬、カヌー、万古渓谷沢渡りなどのアウトドア体験をはじめ、農林業体験、五平餅づくり、ジャム作り、そば打ち、水引細工、草木染め、環境学習、自然体験、ボランティアなど、飯田地域の自然や文化・人を教材とする体験プログラムを提供しています。	本物体験による感動を与えることが飯田市のPRとなります。 また、農業体験では、受入農家の生産意欲の向上につながります。	観光課
信濃路自然歩道の整備	下伊那郡松川高原から、阿智村園原まで78.9キロメートルの信濃路自然歩道伊那谷ルートは、南アルプスの山並みを望み、眼下に天竜川を一望する自然景観ルートです。歩道では貴重な植物も見られます。 平成20年度は、橋の整備をしました。	良好な景観の形成、自然環境保護につながります。	観光課

森の語り部入門講座	<p>森林の成り立ちや、森と生活との関係(かつては生活と密接な関係にあった森や木のこと)について学び、また実際の保全作業などを体験する中から、森林の保全や有効活用のための知識を身につけ、さらに、この講座を通じて自然保護や環境保全についての関心を高めてもらうことを目的に開催。</p> <p>5 / 10 (土) 木曾赤沢休養林の観察等 6 / 7 (土) 面の木原生林での森林観察等 6 / 28日(土) モリアオガエル産卵床の観察等 7 / 26 (土) 大平県民の森、夏焼山の観察等 9 / 6 (土) 大鹿村の巨木・古木の観察 10 / 25 (土) 東沢林道、旧大平街道、大平県民の森林観察等 11 / 22 (土) 森の材料を使った籠作り 12 / 13 (土) 森林作業体験及び正月飾りの作成等</p>	<p>様々な森の環境を観察し、また、実際に木が活用されている場も見学し、森林の有用性や現在の森林の現状を観察してもらう中から、あらためて自然保護や環境保全についての知識や関心を高めてもらうことができた。</p>	生涯学習・スポーツ課
間伐材を利用した工作の紹介	<p>「生活と環境まつり」で、間伐材を活用したクラフト細工コーナーを開設、多くの親子が参加しました。</p>	<p>参加した親や子にとっては、自然とのふれあいや環境についての意識づくりの機会となりました。</p>	<p>地域ぐるみ環境ISO研究会 地球温暖化対策課</p>

(3) 飯田市のイメージづくり及び情報発信(*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
環境標語の掲載	<p>各種納税通知書封入用封筒に環境標語を掲載し啓発した。</p> <p>「アイドリングストップで地球にやさしい思いやり」軽自動車税 19,173 件 「アイドリングストップで地球温暖化防止」市民税・固定資産税 77,467 件</p>	二酸化炭素削減のPR	税務課
水を大切にす意識づくり	<p>年間を通じて水道メーター検針時に市民に配布する「使用数量等のお知らせ」用紙及びハガキと納入通知書を送付する封筒に『自然を守り、水は大切にしましょう。』の啓発文を掲載しました。</p>	市民への意識啓発がねらいです。	水道業務課 料金係
自転車で飯田を発信事業	<p>ツアーオブジャパン及び全日本実業団サイクルロードレースにより飯田を全国に発信するとともに、地域内の人々が、国際レースが当地域で行われることを誇りに思い、環境や健康に良い自転車に興味を持ち乗る人を増やします。</p> <p>ツアーオブジャパン南信州ステージの開催 H20.5.21 全日本実業団サイクルロードレース in 飯田の開催 H20.9.28 自転車専門誌「自転車生活」への特集記事掲載 3回</p>	<p>自転車に興味を持ち、通勤、買物、あるいは旅行などに自転車を使用する人が少しでも増加すれば、二酸化炭素排出削減につながります。</p>	観光課
環境情報の提供	<p>「飯田市環境情報」ホームページを作成し、積極的な環境情報の提供を心がけています。</p>	市民に対し、情報を提供する手段として重要な位置付けとなっています。	環境課

各種普及啓発事業	行政機関と市民団体や事業者との協働により「生活と環境まつり 2008」を10月25日～26日に開催しました。市民5,500人の参加者があり、展示・体験（ＢＤＦ車の試乗、エコドライブ講座など）・研修により環境意識の推進ができました。絵本「もったいないばあさん」の作家「真珠まりこ」先生の講演会等を通じて、環境問題と世界の子供たちのおかれている状況について学びました。	市民の意識向上と、啓発に効果を高めました。	環境課 保健課 男女共同参画課
見てみよう環境施設	環境の日を記念とする飯田市内の環境施設の見学会を行い、水道施設、下水処理施設、ごみ焼却施設及び建設中の最終処分場の見学をし、担当からの説明を受けました。一般市民50名が参加しました。	市民の意識向上と啓発につながりました。	環境課 水道課給水係 下水道課 南信州広域連合
環境首都コンテストへの参加	飯田市は、平成20年度持続可能な地域社会をつくる環境首都コンテスト第8回（環境首都コンテスト全国ネットワーク主催）に応募し、総合で全国67自治体中第3位（前年度66自治体中第3位）、人口規模別（10万人以上30万人未満）で23自治体中第1位（前年度23自治体中第1位）となりました。	飯田市が、客観的どのような評価を得ているかを確認し、今後の取組みに生かすことができます。	環境課 地球温暖化対策課
先進自治体との連帯	環境自治体会議は、環境に対し深い関心を持ち、積極的な環境政策の推進を目標とする自治体のネットワークです。市も平成10年度に加入しました。環境自治体会議ニュースや、全国大会など参加しながら、参加自治体との情報交換を行っています。平成20年度は、5月28～30日に山形県遊佐町において全国大会が開催され、飯田市も参加しました。	環境問題に積極的に取り組んでいる自治体と情報交換をすることで、市の環境政策をより良いものにしていくことができます。	環境課 地球温暖化対策課

（４）市民参加の推進（＊はリーディング事業）

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
地区内公園の美化活動	治水対策事業により整備された公園及び新設のR151バイパスの除草作業、ごみ拾いを行いました。	地域環境の美化に効果があります。	川路まちづくり委員会
環境ネットワークの活動	環境保全活動などを実施している市民団体によるネットワーク「環境ネットワークいいだ」が平成12年に組織されています。適宜「ネットワーク通信」による情報提供や、活動の案内などを実施しています。	情報の共有化による環境教育・環境学習の推進に寄与しています。	環境課
環境アドバイザーの活動	飯田市では、環境に関する専門的な知識又は技術を持っている人を環境アドバイザーとして登録し、市民の要望に応じて研修会、学習会及び観察会の場へ派遣をしています。 環境アドバイザーは、平成19年度～平成20年度の2年任期で10人が登録されています。上記の活動の他にも10月に行われた「生活と環境まつり2008」にも参加し、環境学習などの活動を行いました。	「21いいだ環境プラン」の推進のための意識づくりに、行政と市民の間のパイプ役として、重要な役割を果たしています。	環境課

グリーンコンシューマー活動への支援	環境問題を買い物する立場・行動から考え、ごみ削減をはじめ地球温暖化防止等の活動や、3Rを推進するグリーンコンシューマー活動を行う団体です。今年度は昨年度に引き続きレジ袋削減の取組に関して積極的に行政に働きかけを行い、南信州レジ袋削減推進協議会の発足に関わり、協議会設立、飯伊地域を挙げてのレジ袋削減の取組開始に大きな貢献をしました。	「ごみ削減や、CO2削減に対する意識向上につながる動きとなりました。	グリーンクラブ い〜だ
環境調査員による調査活動	地域の身近な環境の様子を調査し、環境行政の施策の参考とすることを目的として、平成6年度から環境チェッカー制度による環境調査を実施しています。環境チェッカーは次のような活動を行っています。 「指標動植物調査」 身近な自然環境が保たれているか、その指標となる動植物を季節ごと報告してもらっています。 松川の上流及び中流2箇所「水生生物観察会」を7月27日に実施し、水生生物による水質の判定を行いました。 秋の里山観察会、名木・巨木観察会を実施し、地域の自然や歴史について学んでもらいました。	調査活動を実施することにより地域環境への関心が高まると共に、調査結果は貴重な環境資料として広く活用できます。	環境課
地域ぐるみ環境ISO研究会の機関紙発行	研究会機関誌「ぐるみ通信」第276号から294号(18号)発行、研究会や地域の取り組み、環境に関わる社会の動きなどを発信しています。研究会参加事業所、南信州いいむす21登録事業所、地区内外約1200人に提供しました。	環境改善の意識づくりにつながりました。	地域ぐるみ環境 ISO研究会 地球温暖化対策課
アンケート調査の実施	市民の、居住地域の生活環境に関する満足度、環境に対する意識やニーズを把握するため、環境に関する住民アンケートを実施しました。 「資料編 第5章 1住民アンケート集計表」参照	市民の環境に対する意識の高さ及びニーズを把握することで、より効果的な施策展開ができます。	地球温暖化対策課